

一中の新型コロナウイルス感染症対策（改訂版 R2.8.24）

◎学校での、「3つの条件が同時に重なる場」を避けるため

- ①換気の悪い密閉空間にしないための換気の徹底
- ②多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮
- ③近距離での会話や大声での発声を控える意識



- | | |
|--------|---------|
| ◇換気 | ◇手洗い |
| ◇マスク着用 | ◇間隔を空ける |
| ◇集会の工夫 | ◇咳エチケット |

感染症対策を持続可能にするための意識付け

- ・ことある毎に手を丁寧に洗う
- ・閉め切りの部屋にしない
- ・距離をとる
- ・大声を出さない

1学期の生活では、友達同士の距離が近くなっていた傾向があります。熱中症対策でマスクをはずすことも多くなるので、人と人との距離感を意識できるようにしましょう

1 保健管理等

①毎朝の検温・記録、健康観察

- ・警戒レベルが1になるまでは、登校後、速やかに記録用紙を生徒玄関で提出（検温せず登校した生徒は、教室に入る前に生徒玄関で検温）
- ・警戒レベルが1になった場合、記録用紙の回収は教室で行う（検温せずに登校した生徒の検温も教室で行う）

熱がある生徒は帰宅

②手洗いの徹底

- ・登校後、教材等を共用する授業の前後、給食前後、帰りの会終了後、部活動終了後など
- ・自分用のハンカチ、タオルの持参（貸し借りはしない）

③マスクの着用

- ・2m以上の間隔が保てない場合に着用する（校内ではマスク着用）
- ・熱中症対策のため、体調に変化がある場合は一時的にマスクをはずす

④換気の徹底

- ・原則、窓（廊下側も）とドアを常時開けておく（衣服での調整 エアコンの活用）
- ・休み時間に対角線上の窓や戸を全開放する

⑤距離をとる

- ・可能な範囲で座席の間隔を空ける（おおむね1～2m・・・R2.5.1 文科省通知による）
- ・体育、部活動等での集合・整列の際の間隔の意識
- ・休み時間等も多人数で密集しての会話等を避ける
- ・可能な限り、風通しの良いところで過ごす
- ・体育館での全校集会は実施しない（校内放送を利用）
学年集会は体育館等、広い場所で

⑥登校後の発熱や体調不良等の対応

- ・原則、保健室での休養ではなく、保護者へ連絡し迎えに来てもらう
- ・自力で帰宅する場合は保護者の了解を得る

⑦その他

- ・朝の段階で、発熱等の体調不良の生徒は無理せずに登校を控える（出席停止扱い）
- ・各自水筒を持参し、水分補給をする（水筒を密集して保管しない）

- ・多くの生徒が手を触れる箇所は、清掃時に消毒する（スイッチ、階段手すり、流しの蛇口、トイレのドアノブ等）
- ・教職員の感染症対策として、教職員も生徒同様風邪症状が見られる場合は自宅で休養させます（急遽出勤できなくなる場合に備えて、日頃から学級の状況などの情報共有を行う）

2 教育相談、生徒指導

①心のケア

- ・感染症に対して強い不安やストレスを感じている生徒に対しては、必要に応じてスクールカウンセラー等による支援を行う

②差別・いじめへの対応

- ・感染症に関する差別的な発言を見逃さず、その場での指導の徹底
- ・道徳や学級活動で差別・いじめに関する授業の実施

3 学習指導

①臨時休業に備えた準備

- ・再開後も臨時休業に備えて、課題を準備しておく
- ・2週間分を目安に課題を設定、長期化した場合はHPへの掲載や分散登校で課題を指示

当面の間は
前を向いたままで

②授業の進め方

以下の活動は感染リスクが高い活動であるという認識のもと、できるだけ避ける。どうしてもしなくてはならない場合は、飛沫がかからないように場の工夫をする、必要最小限の回数や時間にする、換気と活動後の手洗いを徹底する。

- ・生徒が15分以上近距離での対面形式となるグループ活動
- ・理科におけるグループでの実験や観察
- ・音楽における合唱や器楽学習（同じ方向を向く、できるだけ短時間に）
- ・美術における共同制作や鑑賞
- ・保健体育における密集する運動や接触のある運動

4 部活動

- ・警戒レベルが1になるまでは朝練は不可。警戒レベルが1になり朝練開始となった場合、部活動方針に則り、朝練も合わせて1日2時間の活動とする。ただし、駅伝練習については、健康観察を確実にを行い朝練習とする
- ・対外試合は県内に限る
- ・対外試合等の生徒の移動は、原則自転車か家庭の送迎（乗り合わせはしないこと）に努める
屋内の部活動では、参観スペースが確保できない場合、保護者の応援はなしでお願いします
- ・生徒の身体的・心理的負担を最大限考慮し、休息及び給水を適宜行う

5 給食

- ・給食前の手洗い及びアルコール消毒を徹底する（自前のエプロンとバンダナは継続）
- ・給食当番のアルコール消毒の徹底 ⇒ コンテナ室前にも消毒液を設置
- ・机を向かい合わせにしない できる限り会話を控える

6 清掃

- ・換気の良い状況で、マスクを着用した上で行う
- ・1⑦にあるように、多くの生徒が触れるところの消毒を行う
- ・可能な限りモップ型のぞうきん掛けを行う

7 その他

- ◎今後の状況により、臨機応変に対応する